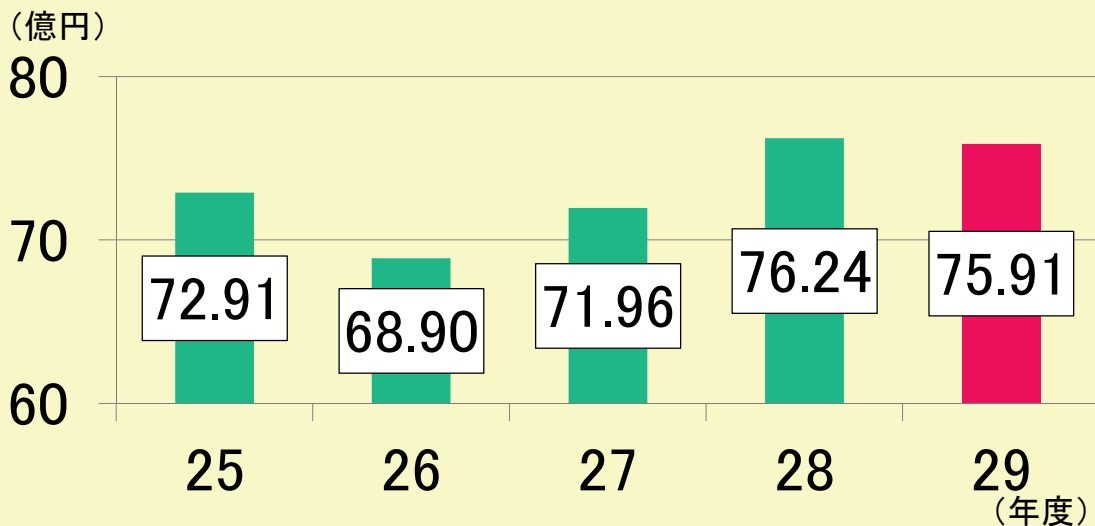


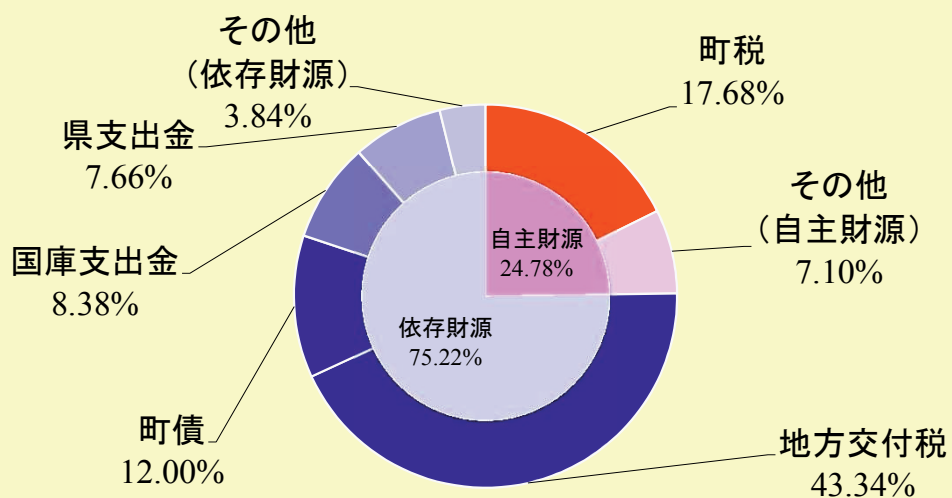
(1)平成29年度事業の説明について

担 当 部 署	ページ	
総務課	1 ~	6
企画課	7 ~	12
商工観光課	13 ~	14
健康対策課	15 ~	19
福祉課	20 ~	25
地域整備課	26 ~	29
産業課	30 ~	31
教育委員会事務局	32 ~	38

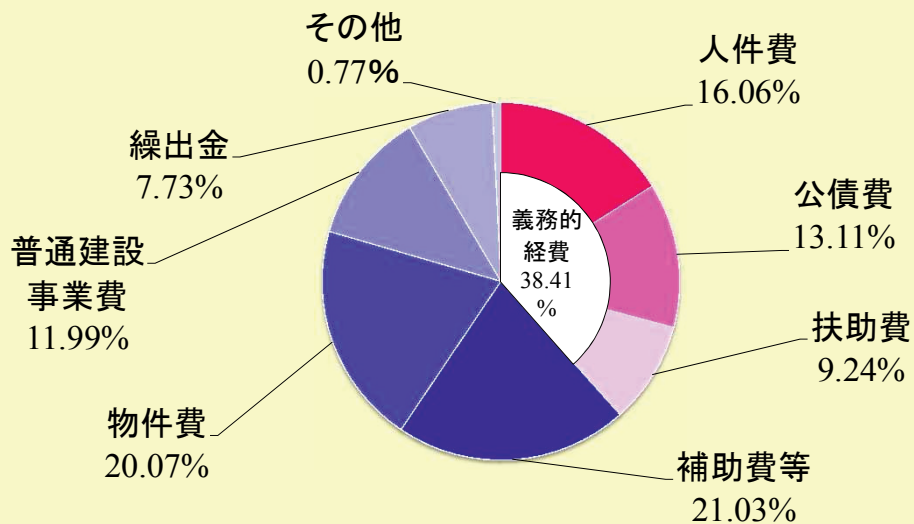
一般会計当初予算額の推移



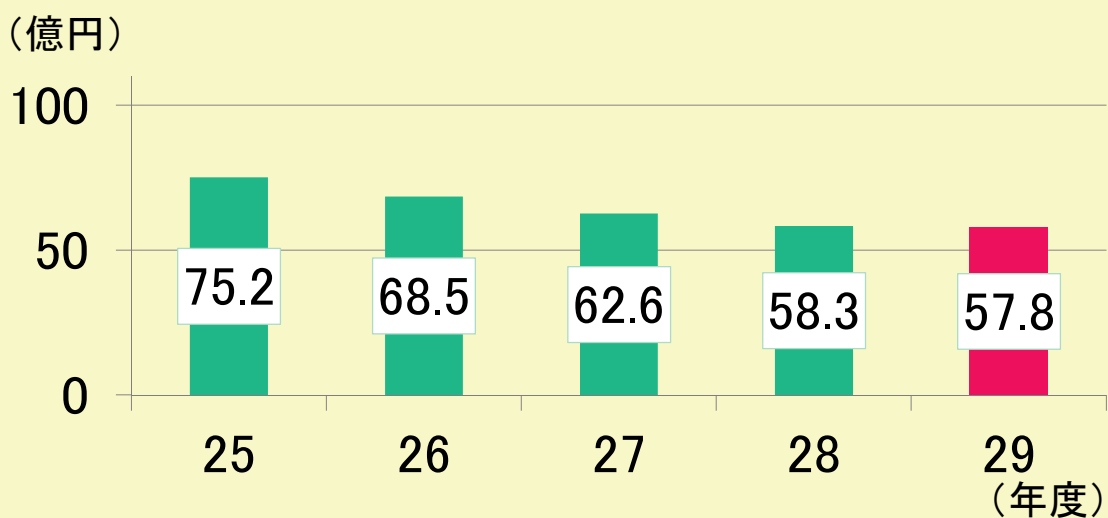
歳入 75億9千1百万円



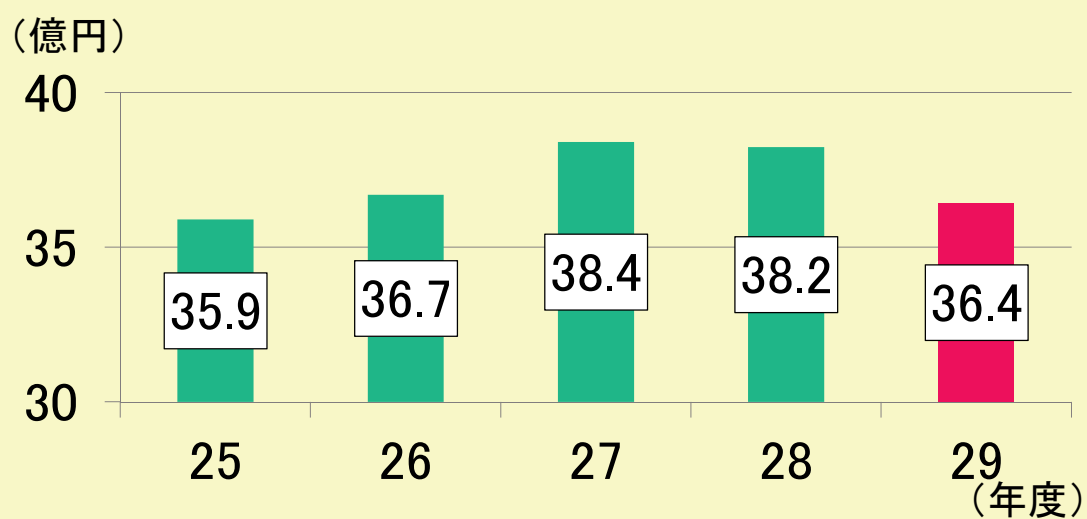
歳出（性質別）



地方債(借入金)残高の推移



基金(貯金)残高の推移



平成29年度一般会計予算

(款) 8. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費 (単位:千円)

提出課 総務課

事業名	消防施設整備事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,621	3,358				3,358

(事業内容の説明)

○消防施設整備補助金

各集落の消防施設整備事業に対し補助を行い、消防施設の整備拡充を図る。

集落補助金 3,358千円

【財源】

一般財源 3,358千円

平成29年度消防施設整備事業補助申請一覧表

(単位:円)

集落名	補助対象事業費	補助率	補助金交付額 ①×②(申請額) 千円未満切捨て	項目	物品名
番原	831,600	80%	665,000	消火栓	消火栓新設
番原	86,400	45%	38,000	器具	消防用ホース×2本 管鎗 1本 噴霧ノズル 1個
番原	103,680	45%	46,000	器具	ホース格納庫 1個 ホース2本 管鎗1本 噴霧ノズル1個
丸山	76,140	45%	34,000	器具	消防用ホース 3本
丸山	155,120	50%	77,000	車庫整備	半川 消防ポンプ車庫修繕
真野	62,640	45%	28,000	器具	ホース 2本
上細見	89,100	45%	40,000	器具	ホース格納庫 5台
立岩	44,280	45%	19,000	器具	ホース 1本 管鎗 1本
吉定	79,920	45%	35,000	器具	ホース格納庫1台 ホース 2本
遠藤	132,840	45%	59,000	器具	ホース格納庫1台 ホース 2本 管鎗1本
リバータウン	77,760	45%	34,000	器具	ホース格納庫3台
こしきヶ丘	137,700	45%	61,000	器具	ホース5本
坂長	103,680	45%	46,000	器具	ホース4本
殿河内	108,000	45%	48,000	ポンプ修繕	ポンプ燃料タンク修繕
殿河内	68,256	45%	30,000	器具	ホース2本 管鎗1本
殿河内	993,600	80%	794,000	消火栓整備	消火栓の移設
岩屋谷	155,520	45%	69,000	器具	ホース6本
溝口四区	52,920	45%	22,000	器具	ホース2本
中祖	51,840	45%	23,000	器具	ホース2本
古市	60,480	45%	27,000	器具	ホース格納庫1台
父原	720,360	80%	576,000	消火栓整備	既設消火栓を 地下式消火栓として 移設
金屋谷	194,400	45%	87,000	器具	ホース9本
緊急修繕分			500,000		
合計	4,386,236		3,358,000		

平成29年度一般会計予算

(款)2. 総務費 (項)1. 総務管理費 (目)11. 交通安全対策費
 提出課 総務課
 (単位:千円)

事業名	LED街灯整備事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,581	733	87			646

(事業内容の説明)
 集落の街灯整備について、LED街灯の新設・更新に限って補助することで、地域の防犯体制の強化、地球温暖化対策に資する。

【補助率】

- ・LED街灯新設 対象経費(限度額46,000円)の10/10以内
- ・LED街灯更新 対象経費(限度額30,000円)の1/2以内

【申請数】

- ・新設分申請額 6集落 9台 410,764円
- ・更新分申請額 7集落 22台 792,396円

(財源の説明) 安全なまちづくりLED防犯灯設置促進事業費補助金(県) 87千円

平成29年度LED街灯設置補助金 (単位:円)

集落	新規			更新			補助額合計
	設置数	対象事業費	補助額	設置数	対象事業費	補助額	
番原	2	94,900	92,000	0	0	0	92,000
丸山	1	45,000	45,000	8	204,768	120,000	165,000
上細見	0	0	0	1	67,122	15,000	15,000
伯耆ニュータウン	0	0	0	2	100,656	30,000	30,000
駅前	0	0	0	3	103,680	45,000	45,000
遠藤	0	0	0	2	69,120	30,000	30,000
こしがが丘	0	0	0	5	210,330	75,000	75,000
宮原	1	43,308	43,000	0	0	0	43,000
大原	1	50,004	46,000	0	0	0	46,000
宇代	0	0	0	1	36,720	15,000	15,000
金屋谷	3	134,244	134,000	0	0	0	134,000
富江	1	43,308	43,000	0	0	0	43,000
計	9	410,764	403,000	22	792,396	330,000	733,000

(款)2. 総務費 (項)1. 総務管理費 (目)14. 空家等対策推進事業
 (単位:千円)

事業名	空家等対策推進事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,594	2,534	0	2,400		134

(事業内容の説明)
 特定空家等除却への補助を行うほか、協議会を設置し計画策定等及び対策検討を行い、増加傾向にある空家等への対策を推進する。

○協議会設置運営等

- 委員報奨金 96千円
- 事務費等 38千円 (消耗品、郵券料)
- 小計 134千円

○空家等除却補助金 2,400千円

(財源の説明) 過疎対策事業債(ソフト) 2,400千円

平成29年度一般会計予算

提出課 総務課

(款) 7. 土木費

(項) 4. 住宅費

(目) 1. 住宅管理費

(単位:千円)

事業名	伯耆町震災に強いまちづくり促進事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,472	2,748	1,962			786
(事業内容の説明)					
町内の住宅及び集落公民館の耐震化の促進を図るため、補助等を行うもの。					
<<補助内容>>					
一般住宅 ※平成12年5月31日以前建築の木造に限る					
区分	補助額上限	補助率	件数	予算計上額	
住宅耐震診断		本人負担なし(町で実施)	5件	555千円	
対象経費上限額を超える部分は、町が負担する。				90千円	
住宅補強設計	160千円		2/3	5件	800千円
耐震改修	1,000千円	S56以前建築	2/3	1件	1,000千円
		S56～H12建築	1/3		
対象経費の上限額は、改修費用の2/3(S56年以前建築)又は1/3(S56～H12建築)と100万円のいずれか低い方					
計				11件	2,445千円
集落公民館 ※昭和56年5月31日以前建築の木造に限る					
区分	補助額上限	補助率	件数	予算計上額	
住宅耐震診断		本人負担なし(町で実施)	1件	111千円	
住宅補強設計	192千円	4/5	1件	192千円	
耐震改修	3,000千円	4/5	0件	0千円	
対象経費の上限額は、改修費用の4/5と300万円のいずれか低い方					
計				2件	303千円
<<財源>>					
区分	国		県		補助金計
	補助率	補助金額	補助率	補助金額	
住宅耐震診断	1/2	330千円	1/4	162千円	492千円
住宅補強設計	1/3	480千円	1/6	240千円	720千円
耐震改修	1/2	500千円	1/4	250千円	750千円
計	-	1,310千円	-	652千円	1,962千円

平成29年度一般会計予算

経営企画室

提出課 企画課

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

(目)11.交通安全対策費

(単位:千円)

事業名	交通安全対策事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,384	1,290				1,290

(事業内容の説明)

- 安全・安心な生活を実現するために、交通安全運動を推進する。
 住民や各種団体に対し、交通安全運動への参加を呼びかけ、意識の向上と啓発を行う。
 全国交通安全運動への協力・参加呼びかけ（春・秋）
 交通安全県民運動への協力・参加呼びかけ（夏・年末）
 江府町との合同啓発活動実施（年4回）
 地域住民と指導員による啓発立ち番（毎月1日・15日）
 } のべ参加予定人数 約4,000人
- 交通安全の啓発活動を行っている住民団体へ助成を行い、住民活動の推進をはかることで意識の向上と啓発を行う。
 伯耆町交通安全推進協議会（構成員 31団体・オブザーバー 25名）
 伯耆町交通安全指導員協議会（交通安全指導員 任期H29年4月から2年間）
 伯耆町交通安全保護者の会連絡協議会（各小中学校及び保育所 11団体）
- 広域交通安全啓発団体に協力し、交通安全に対する啓発活動を推進する。
 負担金（日野川地区交通安全協会：伯耆・江府・日野・日南）
 負担金（鳥取県高速道路交通安全協議会）
- 運転免許証を自主返納された方へ町デマンドバス回数券支給
 回数券3冊(11枚つづり(100円券):3,000円分) 20名分
 対象者:満70歳以上で免許証を自主返納された方、障がいのため免許証を自主返納された方

(事業費内訳)

(単位:千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	交通安全指導員報酬	621	41,400円×15名
旅費	普通旅費	8	交通安全対策各種会議参加旅費
需用費	消耗品費	125	運動用啓発物資・のぼり旗等
	光熱水費	13	回転灯電気代(3箇所:須村、吉定、殿河内)
	施設修繕料	39	回転灯修繕費(3箇所:須村、吉定、殿河内)
役務費	通信運搬費	60	運転免許証自主返納者支援(デマンドバス回数券支給)
負担金補助及び交付金	各種団体交付金	210	交通安全保護者会
	各種団体負担金	214	日野川地区安全協会・県高速道路交通安全協議会
合計		1,290	

平成29年度 地域交通特別会計予算

経営企画室

提出課 企画課

(款)1. 総務費

(項)1. 総務管理費

(目)1. 一般管理費

(単位:千円)

事業名	車両運行事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
98,055	95,373	8,968		86,405	

(事業内容の説明)

- 住民生活や住民活動に必要な地域密着型バス事業を行う。
- ・小中学生のバス通学のため、「スクールバス」を運行する。(12台登校・9台下校:11台委託・1台直営)
利用予定人数は、のべ約11万人。(運行日数 : 約260日/年) 一般住民の利用も可能。

車両運行事業費 61,440 千円

- ・小中学生以外の交通弱者のため、一部予約型の「デマンドバス」を運行する。(3台:委託)
利用予定人数は、のべ約28,000人。(運行日数:360日/年)
70歳以上の住民は、料金が半額。(200円 ⇒ 100円)

デマンドバス運行事業費 27,945 千円

- ・路線バス・スクールバス・デマンドバス等の公共交通機関の利用が困難で、且つ介護保険事業の適用にならない交通弱者に対する支援として「外出支援サービス」を実施する。(3台:委託・一部直営)
利用予定人数は、のべ約1,800人。(運行日数:約250日/年)(利用者:要支援2以上・身障3級以上)
家から病院、病院から家へのドアtoドアの輸送サービス。(週1回まで)

外出支援サービス運行事業費 5,988 千円

- ・住民活動を推進するために、スクールバスの空き時間を活用して「研修バス」を運行する。(直営・委託)
約400回の運行を予定。
(運行日数 : 約250日/年)(利用者 : 各単位老人クラブ・ボランティア団体 等)
(上記の400回には老人クラブ等の他に、各小中学校・保育所・公民館等の一般公用車利用を含める)
研修バス運行事業費 スクールバス経費に含む

事業合計 95,373 千円

【運行実績】※過去3年間

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
スクールバス	117,300人	113,100人	106,500人	112,300人
デマンドバス	28,324人	29,190人	28,330人	28,615人
外出支援サービス	1,734人	1,938人	1,752人	1,808人

【伯耆町型バス事業執行体制】

- ・企画課経営企画室(68-4212):事業の企画、予算編成・決算、対外的な会議・折衝等
 - ・分庁総合窓口課(62-0711):車両運行および維持管理、予算執行、予約管理等
- ※デマンドバス配車センター併設(0120-62-0734)

(財源内訳)

県補助金	8,968 千円	(生活交通体系構築支援補助金)
バス使用料	3,600 千円	
外出支援サービス使用料	756 千円	
雑入	1 千円	
一般会計繰入金	82,048 千円	

平成29年度一般会計予算

町づくり推進室

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 1. 一般管理費

(単位:千円)

事業名	区長協議会				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
14,079	14,031			5,662	8,369
(事業内容の説明)					
自治会(集落)相互の連携と親睦を図るとともに、共通する諸課題の解決に向けた情報交換を行い、住民自治意識の高揚と地域社会福祉の向上に資することを目的に伯耆町区長協議会を運営し、行政への住民参画を促すとともに、自治会活動を支援する。					
(事業費内訳)					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治活動交付金 13,752千円 集落の自治活動を活性化するため、各集落に交付金を交付するもの。 1世帯当たりの交付単価4,000円(世帯数は平成28年度実績数参考) 4,000円×3,276世帯=13,104,000円 区長協議会出席分(4月・11月・1月に開催予定) 2,400円×90×3回=648,000円 ・区長協議会交付金 270千円 区長協議会が実施する環境美化活動、避難訓練、先進地視察研修など事業費 ・普通旅費(区長協議会先進地視察研修随行) 9千円 (2,200円×4人分) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <u>合計</u> <u>14,031千円</u> </div>					
(財源内訳)					
<ul style="list-style-type: none"> 地域振興基金利子 5,662千円 					

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 2. 文書広報費

(単位:千円)

事業名	有線放送施設維持事業(補助金事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,736	1,176				1,176
(事業内容の説明)					
集落有線放送施設の修繕費用等を補助することによって、地域活動を支援する。					
(事業費内訳)					
<ul style="list-style-type: none"> ・使用料及び賃借料(電柱共架料・土地使用料) 676千円 ・有線放送施設整備補助金(緊急対応分) 500千円 					

平成29年度一般会計予算

提出課 企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 6. 諸費

(単位:千円)

事業名	公共施設整備事業(集落公民館等整備事業補助金)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,385	10,039		9,800		239
(事業内容の説明)					
地域住民の自主的な活動や集落活動に必要な公民館等公共施設の整備について公共施設整備補助金を交付することにより、集落負担の軽減を図り、地域住民の連携意識高揚及び住民参加によるまちづくりを推進する。					
		申請集落	2件	交付申請額	9,939千円
				緊急対応分	100千円
				計	10,039千円
(財源内訳)					
		・過疎債			9,800千円

事業名	公共施設整備事業(その他付随施設補助金)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
102	1,296				1,296
(事業内容の説明)					
地域住民の自主的な活動や集落活動に必要な公共施設に付随する施設の整備を支援する。					
		申請集落	5件	交付申請額	1,196千円
				緊急対応分	100千円
				計	1,296千円

事業名	公園施設整備事業補助金				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,221	25				25
(事業内容の説明)					
各集落の公園施設整備事業に対し補助を行い、集落の公園施設整備の支援を行う。					
		申請集落	1件	交付申請額	25千円

平成29年度 公共施設整備補助金申請一覧表

事業名	集落名等	事業概要	補助対象 事業費	補助申請額
公民館等の 整備拡充等	根雨原	根雨原公民館新築工事	15,454,800	9,830,000
	田園町	公民館の屋根・壁修繕(屋根・壁の塗装)	243,777	109,000
	各集落	災害等緊急対応分	222,223	100,000
	計		15,920,800	10,039,000
その他付 随施設整備	大原(岸本)	公民館敷地のアスファルト舗装	1,163,160	523,000
	駅前	公民館ブロック塀の耐震化工事	292,602	131,000
	福原	公民館トイレの洋式化	267,840	133,000
	小野	公民館トイレの洋式化	273,067	136,000
	殿河内	公民館トイレの洋式化(2基)	547,000	273,000
	各集落	災害等緊急対応分	222,223	100,000
	計		2,765,892	1,296,000
公園施設 整備	坂長	倒木により破損した坂一公園フェンスの修繕	57,240	25,000
	計		57,240	25,000
合計			18,743,932	11,360,000

平成29年度一般会計予算

(款)2. 総務費

(項)1. 総務管理費

提出課 企画課
(目)7. 企画費

(単位:千円)

事業名	協働のまちづくり推進事業・地域活動補助事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
471	471				471
(事業内容の説明)					
<p>住民参画による協働のまちづくりを実現するために下記の事業を実施する。また、住民の自主性・主体性に基づいて行う地域の活性化のための活動にの支援をする。</p>					
<p>1. 住民参画の仕組みづくり事業</p>					
<p>・地区別懇談会開催事業</p>				15千円	
<p>2. 地域自治活動機能強化事業</p>					
<p>・集落活性化モデル事業</p>				245千円	
<p>3. 地域活動補助事業</p>					
<p>・地域活動補助事業</p>				211千円	

平成29年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位:千円)

事業名	本気で頑張る産業支援事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,000	4,000				4,000
(事業内容の説明)					
積極的に地域特産品振興を図るため、町内グループ、企業等が本格的な事業化・商品化を行う場合、その事業段階に応じた集中支援を行う。					
(事業内容) 平成20年度からの実施状況(平成28年度は見込み)					
	特産品等開発支援	市場開拓	競争力強化	国・県等制度利用	計
平成20年度	1件 1,000,000円	1件 250,000円	2件 221,928円	1件 70,557円	5件 1,542,485円
平成21年度	2件 2,000,000円	0件	2件 260,000円	5件 1,182,000円	9件 3,442,000円
平成22年度	1件 1,000,000円	1件 153,000円	1件 202,000円	1件 500,000円	4件 1,855,000円
平成23年度	0件	1件 250,000円	1件 224,000円	5件 1,385,000円	7件 1,859,000円
平成24年度	0件	2件 500,000円	1件 250,000円	3件 1,105,000円	6件 1,855,000円
平成25年度	0件	1件 250,000円	0件	3件 856,000円	4件 1,106,000円
平成26年度	0件	1件 250,000円	1件 250,000円	3件 1,073,000円	5件 1,573,000円
平成27年度	0件	0件	1件 250,000円	4件 1,755,000円	5件 2,005,000円
平成28年度	1件 1,000,000円	4件 792,000円	2件 438,000円	1件 150,000円	8件 2,380,000円
※粹計上					

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位:千円)

事業名	地域イベント事業(盆踊り花火大会)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,100	1,100				1,100
(事業内容の説明)					
○健全なレクリエーションによって、町民相互に心豊かな人間性と郷土愛の精神を養い、親睦を図り、明るい伯耆町の伝統文化発展に寄与する目的で大会を実施する。					
[本年度計画]					
・開催日 8月15日					
・開催場所 岸本中学校グラウンド					
・内容 ・花火大会補助金 1,100,000円 (補助金交付先:きしもと豊年盆踊り花火大会実行委員会)					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
事業運営補助金	1,100	きしもと豊年盆踊り花火大会補助金 (内容) 煙火代、盆踊り参加賞等に補助 事業費(平成28年度実績) 2,485千円			
計	1,100				
※事業費は、盆踊り花火大会実行委員会における昨年度実績額を計上。					

平成29年度一般会計予算

提出課 商工観光課

(款) 6. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 3. 観光費 (単位:千円)

事業名	観光イベント一般				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,800	1,800		1,200		600
(事業内容の説明)					
<p>伯耆町の観光イベントである「フェスティバル・ディア・マスミズ」、スキー場開き祭及び「とっとりバーガーフェスタ」への補助を行なう。</p> <p>○フェスティバル・ディア・マスミズ ・開催場所 大山榊水高原 ・開催予定日 7月下旬 ・来場見込 2,000人 榊水の地蔵尊祭を起源とし、現在では本町の観光を代表するイベントであり、また、伯耆町をPRするうえで重要なイベントとなっている。町内だけでなく町外からの来客も多く、実行委員会を組織し、地域活性化の一環として実施している。</p> <p>○とっとりバーガーフェスタ ・開催場所 大山博労座駐車場ほか ・開催予定日 8月下旬(鳥取県予選) 10月中旬(本選) 食のみやこ鳥取県にふさわしいイベントとして、全国各地のご当地バーガーが集結する食の祭典である。本選においては、約40の出展バーガーの中から「ご当地バーガーグランプリ」を決する。本選のほか、県内予選会など、会場別に複数のイベントを行う。</p> <p>○大山榊水高原スキー場開き祭 ・開催予定日 12月下旬 ・開催場所 大山榊水高原 ・来場見込 300人</p>					
(事業費内訳)					
区分	予算額(千円)	説明			
事業運営補助金	1,200	フェスティバル・ディア・マスミズ実行委員会補助金			
	500	とっとりバーガーフェスタ実行委員会補助金			
	100	大山榊水高原スキー場開き祭補助金			
計	1,800				
(財源の説明)					
過疎対策事業債		1,200千円			
※フェスティバル・ディア・マスミズ実行委員会補助金に充当					

平成29年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名		健康教育事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,735	5,241	502		777	3,962
(事業内容の説明)					
①個別健康教育					
すべての生活習慣病の誘因と言っても過言でない糖尿病に対して個別の生活習慣を考慮し医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等による効果的な個別指導、相談を行う。					
○耐糖能異常検査・保健指導					
②集団健康教育					
生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識や実践力の普及を図る。					
○糖尿病予防教室 ○高齢者健康運動教室（まめまめクラブ）					
○糖尿病予防教室OB研修会 ○スクエアステップ教室					
○糖尿病予防講演会 ○健康運動アドバイザー研修会					
○生活習慣病予防講演会 ○水中まめまめクラブ					
○ウォーキングの集い ○アクアフィットネス教室					
○ほうき体操講習会					
【事業費】					
謝礼		288千円			
旅費		3千円			
需用費		202千円			
資格更新手数料		22千円			
検診委託料		69千円			
健康教室委託料		4,639千円			
自動車借上料		18千円			
計		5,241千円			
《財 源》					
健康増進事業費県補助金		502千円			
教室等参加手数料		425千円			
諸収入（血液検査料等）		183千円			
後期高齢者医療特別対策補助金		169千円			
一般財源		3,962千円			

平成29年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名	検診事業					
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			一般財源
国・県支出金			起債	その他		
	32,993	34,494	1,509		2,975	30,010
(事業内容の説明)						
【事業概要】						
<p>がんの早期発見・早期治療のため、各種がん検診を行う。 検診の形態は、公益財団法人鳥取県保健事業団に委託して実施する集団検診と、各医療機関に委託して実施する医療機関個別検診の2種類。 がん検診は健康増進法に基いての努力義務として、また、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診は健康増進法に基づきがん検診とともに実施する。 また、後期高齢者医療保険の被保険者を対象とした人間ドックを実施する。</p>						
【実施内容】						
○集団検診						
<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診 ・ピロリ菌検査 ・結核肺がん検診 ・大腸がん検診 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・骨量検診 ・肝炎ウイルス検診 ・前立腺がん検診 						
○医療機関委託検診						
<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診 ・ピロリ菌検査 ・子宮がん検診 ・乳がん検診 ・骨粗鬆症検診 						
○後期高齢者人間ドック						
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度中に偶数年齢になる後期高齢者医療被保険者で人間ドックを希望される方 100名 						
【事業費】						
	短期雇用賃金		13千円			
	消耗品費		1,182千円			
	印刷製本費		193千円			
	通信運搬費		110千円			
	検診委託料		29,485千円			
	人間ドック委託料		3,500千円			
	<u>自己負担金返還金</u>		<u>11千円</u>			
	計		34,494千円			
≪財 源≫						
	・健康増進事業費補助金		676千円			
	*健康診査 補助基準額 848,490円×補助率2/3		631千円			※基本健診事業と按分
	*自己負担相当額(肝炎ウイルス検査) 補助基準額 45千円×補助率10/10					
	・休日がん検診支援事業		240千円			
	*休日がん検診車利用料のうち、基本額の2/3を県が補助するもの					
	・新たなステージに入ったがん検診総合支援事業		25千円			
	*がん検診無料クーポン券(子宮がん、乳がん)等配布や未受診者に対する受診勧奨に係る費用のうち、基本額の1/2を国が補助するもの					
	・大腸がん検診特別推進支援事業		28千円			
	*大腸がん検診容器代、送付代等に係る費用のうち、基本額の1/2を県が補助するもの					
	・鳥取県後期高齢者医療特別対策補助金		2,975千円			
	*後期高齢者人間ドックの町負担額10/10(後期高齢者広域連合の予算の範囲内)					
	・鳥取県市町村交付金		540千円			
	・一般財源					30,010千円

平成29年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 3. 保健事業費

(単位:千円)

事業名	健康ポイント制度事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,133	1,118				1,118
(事業内容の説明)					
「健康づくり」への動機付け及び啓発、健診受診率の向上を目的に、「健康ポイント制度」を継続実施する。					
対象事業に参加した者にポイントを付与し、10ポイントに達した者に利用券(500円相当)を贈る。又、年間100ポイント達成者を表彰する。					
○ポイント対象事業					
住民健診・人間ドック・健康づくり講演会・健康教室・プール利用(ゆうあいパル・B&G)・公民館高齢者学級・図書館音読教室・等					
【事業費】					
	報償費		1,000千円		
	消耗品費		20千円		
	印刷製本費		98千円		
	計		1,118千円		
≪財源≫					
	一般財源				1,118千円

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 4. 予防費

(単位:千円)

事業名	インフルエンザ予防接種事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
15,620	14,004	1,400			12,604
(事業内容の説明)					
1. 目的					
初冬から春先にかけて毎年流行するインフルエンザの蔓延予防と重症化を予防するため全町民に対して予防接種費用の助成を行う。					
2. 対象者					
①65歳未満(町独自の任意予防接種補助対象者) … 負担金					
②65歳以上(予防接種法における定期予防接種対象者) … 委託料					
3. 助成内容					
①65歳未満 1,000円/回					
②65歳以上 3,200円/回					
※生活保護受給者はいずれも全額助成、13歳未満は2回接種					
【事業費】					
	需用費(消耗品費・印刷製本費)		133千円		
	予防接種委託料		9,648千円		
	予防接種負担金		4,223千円		
	計		14,004千円		
≪財源≫					
	県支出金(市町村交付金)		1,400千円		
	一般財源				12,604千円

平成29年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 4. 予防費

(単位:千円)

事業名		任意予防接種助成事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,500	1,132	40			1,092
(事業内容の説明)					
1. 目的					
<p>おたふくかぜワクチン、ロタウイルスワクチンについては、引き続き接種費用の助成を行い、保護者の経済的負担の軽減につとめる。水痘ワクチンについては平成26年10月に法定接種化となったが、法定接種対象とならない3歳以上13歳未満の小児及び児童に対しての任意助成を継続する。平成28年4月に法定接種化となったB型肝炎ワクチンについては、1歳以上2歳未満の小児に対して任意助成を継続する。</p>					
2. 助成内容					
ワクチン名	助成回数	助成対象		助成額	
おたふくかぜ	1回	1歳以上13歳未満でまだ罹患していない小児及び児童		2,000円	
水痘	1回	3歳以上13歳未満でまだ罹患していない小児及び児童		3,000円	
ロタ	ロタリックス	2回	生後6週以上24週未満の小児		6,000円
	ロタテック	3回	生後6週以上32週未満の小児		4,000円
B型肝炎	3回	生後1歳以上2歳未満の小児 ※B型肝炎母子感染予防事業対象者及び汚染事故は除く。		2,000円	
風しん	風疹ワクチン	1回	風しん抗体価検査で低値と判断された妊娠を希望する女性。または妊婦の夫		3,000円
	MRワクチン	1回			5,000円
※生活保護受給者は、全額助成					
3. 助成方法					
町内外医療機関問わず、償還払い					
				・消耗品費(助成券、予診票等作成)	16千円
				・予防接種補助金	1,116千円
				合計	1,132千円
《財源》	風しんワクチン接種費県補助金 助成費用の1/2			40千円	
	風しんワクチン対象者 16名×5000円=80000円				
	一般財源			1,092千円	

平成29年度一般会計予算

提出課 健康対策課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 5. 介護保険事業費

(単位:千円)

事業名	介護予防事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,617	3,114			3,114	
(事業内容の説明)					
【事業概要】					
一般の高齢者や要支援状態になるおそれのある高齢者を対象とし、介護予防に関する講演会や生活機能の向上、栄養改善・口腔機能の向上など介護予防のための教室を開催する。					
認知症のおそれのある者、予防が必要な者を「物忘れ相談会」などの機会を通じて把握し、頭の活性化訓練のための教室等による認知症の早期発見と予防を図る。					
新規に、筋力低下など運動器機能に不安を抱える高齢者を対象に、運動器機能の改善を目的として、トレーニングマシンを活用した短期集中的な運動教室を開催する。					
【事業メニュー】					
・ 介護予防講演会 年2回					
・ 栄養改善や口腔機能に関する介護予防教室 (2回/教室) ×2会場					
・ 物忘れ相談会 年1回×2会場					
・ 認知症予防教室 年96回 (月2回×12月×4会場)					
・ 出前型介護予防教室 10集落程度					
・ 介護支援ボランティア養成研修事業 1講座					
・ 高齢者生活機能向上事業 月1回×12月×2会場					
・ 【新規】シニアパワーアップ教室 12回コース×3教室					
	臨時保健師賃金		38	千円	
	講師等謝金		234	千円	
	事務費等		53	千円	
	認知症予防教室委託料		1,796	千円	
	高齢者生活機能向上事業委託料		312	千円	
【新規】	シニアパワーアップ教室		648	千円	
	自動車借上料		33	千円	
	計		3,114	千円	
【財源】	南部箕蚊屋広域連合負担金		3,114	千円	

平成29年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	温水プール利用促進健康づくり事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,210	2,545				2,545

(事業内容の説明)

温水プールの利用料を助成することによって、施設の利用促進と、町民の自発的・積極的な体力づくり及び健康の改善・保持・増進を図る。

①個人利用 (H25年度～)

- プール利用1回あたり料金310円(未就学児は210円)を助成。
- 1か月あたり4回(週1回)の利用を想定し、年度あたり最大48回分を限度として助成。

②グループ利用 (H26年度～)

- 1人では続かない人やプールを活用した健康づくりに取り組む人を増加させることを目的に家族や友人同士などの2人以上のグループでのプール利用を助成。
- グループ全員が48回を利用した場合には、さらに年度末までの「残り月数×4回分」を助成。

③モニター利用 (H26年度～)

- 水中ウォーキングの効果の検証と健康づくりに対する動機づけを目的に、体重、体脂肪率などを記録するモニターを募集。
モニター登録者には、週2回(月8回)の利用を想定して「年度末までの残り月数×8回」分のプール券と併せて数値などを記録する「プール利用者カード」交付。
※月8回分を想定。使用頻度は問わないが、一定の使用量はお願いする。
また、プール利用者カードに体重等を記録し、利用券がなくなった時点、または、年度が終了したときには、利用者カードの提出をお願いする。

【助成対象】 伯耆町民

【利用実績】

単位：円

区分	H26年度			H27年度			H28年度		
	交付者数	利用者数(延)	助成額	交付者数	利用者数(延)	助成額	交付者数	利用者数(延)	助成額
個人利用	169	2,407	746,170	194	2,400	743,100	145	2,357	730,670
グループ利用	53	561	172,610	53	1,026	317,760	22	586	181,660
モニター利用	51	2,550	790,500	59	3,249	1,007,190	58	3,840	1,190,400
合計	273	5,518	1,709,280	306	6,675	2,068,050	225	6,783	2,102,730

平成29年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	溝口福祉センター改修事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
4,968	52,419		51,600		819

(事業内容の説明)

【事業概要】

溝口福祉センターは、平成4年の開設後24年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。また、利用者の増加や介護予防事業の実施など、建設当時とは利用状況が変わってきたため、機能面でも課題が多い。

町が実施する総合事業（介護予防等）の効果的な実施と、地域福祉活動拠点としての機能向上を図るため、施設改修を実施する。

<事業期間> 2ヶ年（平成28年度～平成29年度）

事業年度	事業概要	事業費	財源	
			起債	一般財源
H28	実施設計(完了)	3,888	3,800	88
H29	本体工事、施工監理ほか	52,419	51,600	819
計		56,307	55,400	907

<主な改修内容>

改修箇所	主な改修内容
①省エネ改修	●全館LED照明改修 ●空調効率化改修(プロペラ扇設置、窓ガラス断熱)
②玄関	●風除室雨漏対策(ゴム防水新設、縦樋取替) ●入口ドア改修(両開戸を両引戸へ取替) ●ロビーフロア拡張 など
③訓練相談室	●洗面台追加(カウンター付洗面台4台設置) ●手摺対応型トイレ設置 など
④厨房	●衛生改善(外部流し設置、食品庫ドア新設、床塗装など) ●機器改善(食器棚、食洗機更新など) など
⑤食堂	●配膳カウンター拡張 ●壁撤去・新設(ロビー側へ拡張) など
⑥浴室	●脱衣所(スペース)の拡張・床材の取替 ●出入口新設 ●浴槽改修(ステンレス浴槽新設など) など
⑦便所	●便器洋式化 ●床改修(通路床材張替、EV点検口交換)
⑨外部	●未舗装部分の舗装 ●外壁タイル補修 など

【事業費】	監理委託料	2,700千円
	工事請負費(本体改修、電話回線工事等)	48,992千円
	備品購入費	727千円
	計	52,419千円

【財源】	過疎対策事業債	51,600千円
------	---------	----------

平成29年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	生活困窮者自立支援事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
7,083	7,433	4,344			3,089

(事業内容の説明)

【事業概要】

生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給等を行う。

○自立相談支援事業

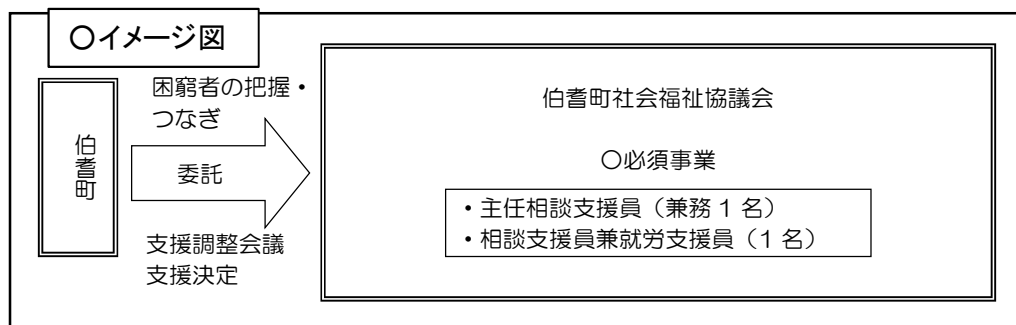
生活困窮者に対する相談窓口を設置し、主任相談支援員、相談支援員、就労支援員の3職種を配置する。相談窓口では、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等を実施する。

○住居確保給付金

離職を理由に住居を失う恐れがある者に有期で家賃等を支給する。

【実施体制】

伯耆町社協に相談窓口を設置し、自立相談支援事業及び住居確保給付金の申請受付を行う。相談者の相談内容から必要な支援を検討し、必要に応じて役場、関係機関等と連携して当該相談者の支援を行う。



【連絡先】

伯耆町社会福祉協議会 電話：0859-68-4635

事業名	福祉のまちづくり推進事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	200	150			50

(事業内容の説明)

【事業概要】

民間の特定建築物(※)のバリアフリー化を支援するため、バリアフリー法及び鳥取県福祉のまちづくり条例の基準その他によるバリアフリー化工事を行う建築主等に対して、費用の一部を助成する。

(※) バリアフリー法による特定建築物

スーパーマーケット、遊技場、ホテル、事務所等

【事業費】

○負担金補助金及び交付金

補助対象限度額 200,000円×町補助率1/2×2件 200,000円
(ベビーベッド2か所)

【財源】

国：住宅・建築物耐震改修等事業補助金 1/2 100,000円
県：福祉のまちづくり推進事業補助金 1/4 50,000円

平成29年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 4. 老人福祉費

(単位：千円)

事業名	敬老会助成事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,300	4,997				4,997
(事業内容の説明)					
【事業概要】					
<p>多年にわたり地域社会に尽くした高齢者を敬愛し、地域ぐるみで長寿を祝い、地域の中で支えあう安心のまちづくりを促進するため、各自治会で町内の77歳以上の高齢者の長寿を祝う催しを等について助成を行う。</p> <p>対象者： <u>平成29年8月1日現在で77歳以上の者</u> 1,900人（H28.11現在の住基データにより確認した対象者の見込み数）</p>					
【事業費】					
<p>ア. 各地区公民館等で対象者を主とした敬老会を開催する事業</p> <p><対象者数見込み> 798人 [1,900人×42%]</p> <p><補助額> 3,500円/人</p> <p><事業費> 798人 × 3,500円 = 2,793,000円 …①</p>					
<p>イ. 対象者に対して記念品の配布のみを行う事業</p> <p><対象者数見込み> 1,102人 [1,900人×58%]</p> <p><補助額> 2,000円/人</p> <p><事業費> 1,102人 × 2,000円 = 2,204,000円 …②</p>					
<p>計 4,997,000円 (①+②)</p>					
※アとイの対象者数見込みは前年実績で按分					

事業名	敬老の日贈り物				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
336	265				265
(事業内容の説明)					
【事業概要】					
<p>町内在住の90歳、100歳、105歳、最高齢者の記念年齢の方に記念品を贈呈し、長寿をお祝いする。</p>					
【事業費】					
	区分	対象者数	単価	金額	
	90歳の者	75人	3,240円	243,000円	
	100歳の者	5人	3,240円	16,200円	
	105歳の者	0人	3,240円	0円	
	町内最高齢者	1人	5,400円	5,400円	
		81人		264,600円	
※対象者数はH28.11現在の住民基本台帳による					
	年度	H26	H27	H28	

平成29年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款)3. 民生費

(項)2. 児童福祉費

(目)1. 児童福祉総務費

(単位:千円)

事業名	溝口放課後児童クラブ改築事業【新規】					
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
			国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	62,931	16,642	44,600		1,689	

(事業内容の説明)

1. 事業の概要

溝口放課後児童クラブは、「青年の家」内で運営しているが、建築から約50年が経過し老朽化が進んでいるため、建物を解体・撤去し、跡地に放課後児童クラブ専用の施設を建設する。また、同敷地内にある消防団拠点施設（第1、7分団車庫）についても、同時に解体・撤去を行い、保護者送迎用の駐車場を整備する。

<施設整備計画>

【構造】	木造平屋建	【延床面積】	155.23㎡
【定員】	40人	【開設時期】	平成29年度中
【設備等】	保育室、指導員室、静養室、トイレ、テラス（児童玄関兼用）等		
【仮設運営】	改築期間中は、溝口小学校の空き教室を利用し児童クラブを運営		

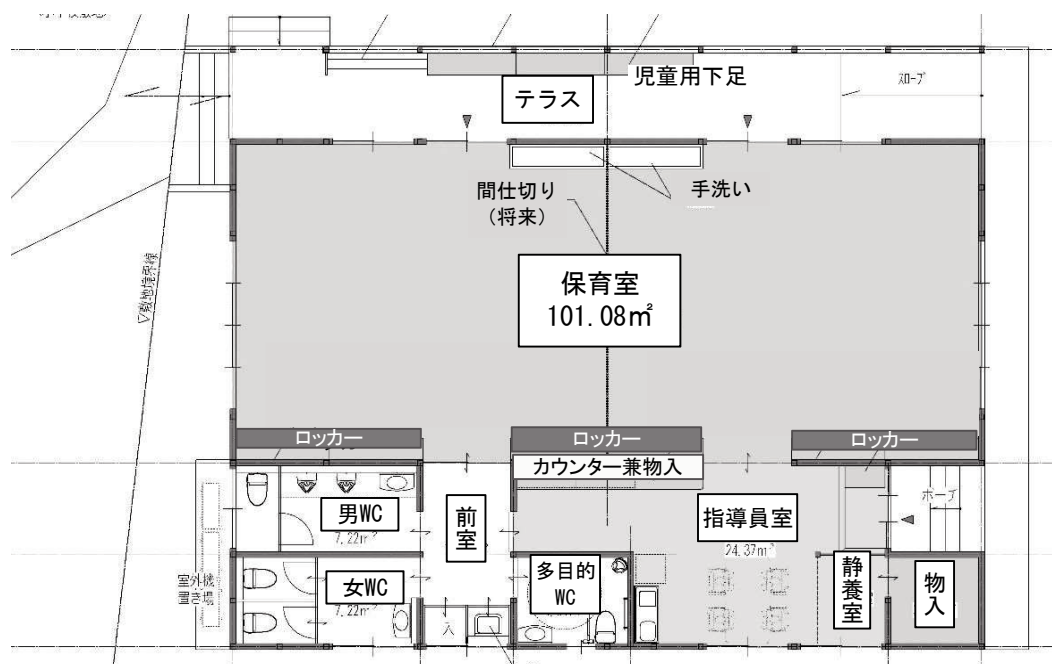
2. 事業費

●消耗品費（収入印紙等）	50千円
●通信運搬費（仮設児童クラブ電話使用料）	79千円
●火災保険料	59千円
●設計・監理委託料	4,961千円
●工事請負費	56,282千円
●備品購入費（家具・電化製品等）	1,500千円
計	62,931千円

3. 財源の説明

●子ども・子育て支援整備交付金	16,642千円
●過疎対策事業債（充当率100%）	44,600千円

<整備計画平面図>



平成29年度一般会計予算

提出課：福祉課

(款)3. 民生費

(項)2. 児童福祉費

(目)1. 児童福祉総務費

(単位:千円)

事業名	二部放課後児童クラブ運営費補助事業 【新規】				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	3,314	802			2,512
(事業内容の説明)					
1. 事業の概要					
<p>二部放課後児童クラブの運営を行う団体に対し、運営費の補助を行う。施設、備品等は町から貸し出す。</p> <p>運営にあたっては「伯耆町放課後児童クラブ管理運営規則」に基づく管理運営を行うことを補助の前提とする。(町運営の放課後児童クラブと同じ基準による運営を行う。)</p>					
開所日	年間250日以上(平日、土曜日、長期休暇(夏・冬・春休み期間))				
閉所日	日曜、祝祭日、年末年始				
開所時間	平日:14時30分～18時30分 土曜、長期休暇:8時00分～18時30分				
開所場所	二部小学校体育館内会議室				
利用見込数	通常利用数 10名 一時登録数(長期休暇中等) 5名				
利用料	月額3,500円(多子同時入所の場合、2子以降を半額) 長期休業中の利用について、1日あたり200円を加算(児童扶養手当受給中の世帯は加算を免除)				
実施主体	だんだんプロジェクト・たくしクラブ				
2. 事業費					
	●備品購入費(冷蔵庫、加湿空気清浄機等)	215千円			
	●運営事業費補助金	3,099千円			
3. 財源内訳					
	子ども・子育て支援事業交付金(国1/3、県1/3)	802千円			
	<補助金計算>				
	補助基準額(年間250日以上開設・児童数1～19名の支援の単位)				
	1,447,000円－(19人－児童数10人)×27,000円＝1,204,000円×2/3＝802千円				

平成29年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 7. 企画費

(単位:千円)

事業名		太陽光発電システム助成事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,200	5,510	2,755			2,755
(事業内容の説明)					
町内の自ら居住する住宅に太陽光発電システム等を導入する者に対し補助金を交付する。					
【補助額】					
・太陽光発電システム(1キロワット当り90千円 上限額:1件当り4キロワット)					
360千円×10件 3,600千円					
・【新規】家庭用コージェネレーションシステム					
・エネファーム(上限額:1件当り180千円)					
180千円×1件 180千円					
・エコウィル(上限額:1件当り90千円)					
90千円×1件 90千円					
・太陽熱温水器(上限額:1件当り70千円)					
70千円×10件 700千円					
・薪ストーブ、木質ペレットストーブ(上限額:1件当り180千円)					
180千円×3件 540千円					
・【新規】定置用蓄電池等<定置用蓄電池・電気自動車等充給電設備>					
(上限額:1件当り200千円)					
200千円×2件 400千円					
合 計 5,510千円					
【財 源】					
鳥取県家庭用発電設備等導入推進補助金(補助率1/2) 2,755千円					

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 5. 動物愛護管理推進費

(単位:千円)

事業名		動物愛護管理推進事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
606	452	50		202	200
(事業内容の説明)					
・狂犬病予防に係る事務費(注射済票等)を計上。					
・住民の利便性向上のため、鑑札と注射済票の発行を県西部の動物病院でも行えるよう、 交付事務を鳥取県獣医師会に委託する。					
・飼い主のいない猫、及び飼い猫の望まれない繁殖を抑制することにより、殺処分数を減少させ、 また糞尿被害等のトラブルを防止するため、不妊去勢手術費用の助成を行う。					
・【新規】近年増加している猫の糞尿被害に対して、猫除け器(ガーデンバリア)を購入し、 必要者に貸出を行う。					
(1) 消耗品費(鑑札・注射済票・猫除け器等) 73千円					
猫除け器(ガーデンバリア)4台 49千円					
(2) 旅費(担当者会出席分) 5千円					
(3) 狂犬病予防接種済票等交付事務委託料 75千円					
(4) 猫不妊・去勢手術費補助金 250千円					
内訳 ・飼い主のいない猫 10件×10,000円 ・飼い猫 30件× 5,000円					
【財 源】					
・犬登録手数料 202千円					
・鳥取県猫不妊去勢手術助成事業費補助金 50千円					
(※野良猫のみ 1/2間接補助)					

平成29年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 1. 清掃処理費

(単位:千円)

事業名	生ゴミ減量化事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,002	2,966				2,966
(事業内容の説明)					
<p>集落及び食品残渣を排出している事業所に大型生ゴミ処理機の貸出しを行うとともに、町内のモデル集落、公共施設から排出される生ゴミの堆肥化を行うことにより生ゴミの減量化を図る。 また、生ゴミ処理容器(コンポスト)を購入する者に対し補助金を交付する。</p>					
1. 家庭ごみの減量化					
(1) 大型生ゴミ処理機の維持管理					
設置箇所:こしが丘区(平成25年6月から稼働開始。年間で約7tのごみ減量化)					
・生ゴミ処理施設にかかる光熱水費・保守料					384千円
・生ゴミ収集運搬及び処理施設管理委託料					250千円
・その他					242千円
(2) モデル集落による家庭生ゴミの堆肥化					
<p>伯耆ニュータウン区に家庭生ゴミの収集運搬を委託する(年間約7t)。処理については公共施設の生ゴミ堆肥化と併せて実施する。</p>					
・生ゴミ収集運搬委託料					322千円
【新規】新たにモデル集落を募集し減量化を図る。					
・収集運搬委託料					322千円
・生ゴミ収集用バケツ(150個)					227千円
(3) 生ゴミ処理容器(コンポスト)購入補助金					53千円
2. 町内公共施設から排出される生ゴミの減量化					
<p>給食センター及び保育所から排出される生ゴミを、町内に堆肥化処理施設をもつ業者に委託して堆肥化する。年間約11tのごみ減量化</p>					
・生ゴミ処理委託料					1,166千円

平成29年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 2. 道路維持費

(単位:千円)

事業名	町道管理事業																
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳															
		国・県支出金	起債	その他	一般財源												
850	820				820												
(事業内容の説明)																	
ボランティアの育成・支援するために、町道の草刈り等を実施した集落等に、報償金を支払う。																	
<p>■対象となる事業</p> <p>「集落と集落」または「集落と公共施設」を結ぶなど、幹線的な役割を果たす町道の清掃1回の作業延長が200メートル以上の路線で、年2回までの作業が対象</p>																	
<p>■報償金の額</p> <p>年間の作業延長により、次に掲げる額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業延長（年間の累計）</th> <th>報償金の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200メートル以上 500メートル未満</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>500メートル以上 1キロメートル未満</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>1キロメートル以上 3キロメートル未満</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>3キロメートル以上 5キロメートル未満</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>5キロメートル以上</td> <td>70,000円</td> </tr> </tbody> </table>						作業延長（年間の累計）	報償金の額	200メートル以上 500メートル未満	10,000円	500メートル以上 1キロメートル未満	20,000円	1キロメートル以上 3キロメートル未満	30,000円	3キロメートル以上 5キロメートル未満	50,000円	5キロメートル以上	70,000円
作業延長（年間の累計）	報償金の額																
200メートル以上 500メートル未満	10,000円																
500メートル以上 1キロメートル未満	20,000円																
1キロメートル以上 3キロメートル未満	30,000円																
3キロメートル以上 5キロメートル未満	50,000円																
5キロメートル以上	70,000円																
<p>■参考 平成28年度実施団体数 19団体</p> <p>平成29年4月1日現在の申請団体数 15団体</p>																	

平成29年度一般会計予算

提出課 地域整備課

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 3. 道路新設改良費

(単位:千円)

事業名	町道改良事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
230,500	277,980	139,326	133,800		4,854
(事業内容の説明)					
昨年度から引き続き、町道籠原栃原線、町道根雨原大坂線、町道真野藍野線、町道岸本大原線の改良を行う。					
町道溝口中央線については測量設計を行う。					
また、町内の幹線町道・主要町道のうち、公共交通機関通行や緊急車両進入の支障となる狭あい箇所について、改良の検討及び可能な箇所は実施を行う。					
【財源】					
社会資本整備総合交付金		139,326	千円		
過疎対策事業債		67,600	千円		
合併特例事業債		66,200	千円		

(款) 7. 土木費

(項) 1. 道路橋梁費

(目) 2. 道路維持費 5. 橋梁維持費

(単位:千円)

事業名	町道点検事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
35,000	25,000	21,000			4,000
(事業内容の説明)					
町道について、随時、詳細点検を行う。					
また、橋長2m以上の町道橋については随時定期点検を行っていく。					
【事業費の内訳】					
点検委託料		25,000	千円		
【財源】					
社会資本整備総合交付金		21,000	千円(補助対象額 25,000千円×60%)		

平成29年度一般会計予算

(款) 5. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費 (単位:千円)

事業名	有害鳥獣駆除事業					
	前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
			国・県支出金	起債	その他	一般財源
	12,034	12,570	4,897		474	7,199
(事業内容の説明)						
イノシシ等有害鳥獣による農作物等の被害を防止することを目的とした事業。						
○イノシシ等駆除委託料						2,745千円
・町内猟友会へのイノシシ等駆除委託料						
(6,100円×150人役)×3班(岸本・溝口・二部)=2,745,000円						負担割合(県1/3、町2/3)
○イノシシ等被害防止対策事業補助金(一般分)						3,446千円
・集落、農家等が設置するイノシシ進入防止柵に対する補助						
金網等 3,025,000円×2/3=2,016,667円						
電気柵 2,142,900円×2/3=1,428,600円						
合計3,445,267円						負担割合(県1/3、町1/3、集落等1/3)
○イノシシ等被害防止対策事業補助金(一括購入分)						1,424千円
・集落等が設置するイノシシ進入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)を町が各集落の要望を取りまとめ、一括購入する。						
ワイヤーメッシュ柵 1,424,000円						負担割合(県1/3 町1/3 集落等1/3)
○イノシシ等捕獲奨励金						3,220千円
・イノシシ捕獲奨励金 300頭×10,000円/頭=3,000,000円						
・シカ捕獲奨励金 10頭×10,000円/頭=100,000円						
・ヌートリア捕獲奨励金 10頭×2,000円/頭=20,000円						負担割合(県1/2、町1/2)
・シカ捕獲上乗せ 10頭×8,000円/頭=80,000円						負担割合(県10/10)
・アライグマ捕獲奨励金 2頭×10,000円/頭=20,000円						負担割合(県1/2、町1/2)
合計3,220,000円						
○カワウ駆除経費補助						50千円
○県射撃環境支援事業						240千円
駆除員の射撃練習に係る経費の一部を支援						
10,000円×24名=240,000円						
○イノシシ捕獲檻購入補助金						300千円
集落が被害軽減のために購入するイノシシ捕獲檻の購入費用に1/2を助成						
@100,000円×4集落6基×1/2=300,000円						
○有害鳥獣駆除用実包購入助成						76千円
有害駆除に必要な実包の購入費用の1/2を助成						
散弾等152,000円×1/2=76,000円						
○狩猟免許取得経費助成事業						34千円
狩猟免許取得に必要な経費を助成						
・銃猟免許経費8,942円×1人=8,942円						
・わな猟免許取得経費8,042円×3人=24,126円						合計33,068円
○有害鳥獣対策用資機材購入助成						135千円
捕獲檻、侵入防止柵等、被害対策に必要な補修資機材の購入経費の一部を助成						
・捕獲檻等補修資材 402,600円×1/3=134,200円						
○ゴルフ場有害鳥獣対策用資機材購入助成						900千円
ワイヤーメッシュ、電柵、捕獲檻等のゴルフ場での被害対策用資機材購入経費の一部を助成						
・侵入防止用資材等 (1カ所上限@600,000円×4カ所)×1/3=800,000円						
・捕獲用檻購入 100,000円×3基×1/3=100,000円						合計900,000円
合計 12,570千円						
【財源内訳】			県補助金	4,897千円(鳥獣被害防止補助金)		
			分担金	474千円(集落からの分担金)		
			一般財源	7,199千円		

(款) 5. 農林水産業費

(項) 1. 農業費

(目) 3. 農業振興費

(単位:千円)

事業名	景観形成作物栽培促進事業【新規】				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	1,703				1,703
(事業内容の説明)					
水田の地力維持・増進及び観光資源の整備維持を目的として、町花である「菜の花」をはじめ、「レンゲ」、「ヒマワリ」の作付を促し、景観形成を推進する。					
○事業主体 町内の30a以上のまとまった農地で作付する農業者、集落及び実行組合等の組織					
○事業内容 種子の無償配布…菜の花、レンゲ、ヒマワリ 交付金事業…開花が確認できた場合、5,000円/10aを交付					
○実施面積 18ha(内訳 春 15ha、夏3ha)					
○事業費 種子代 802,872円 交付金 5,000円/10a×18ha= 900,000円					
【財源内訳】 一般財源 1,703千円					

(款) 5. 農林水産業費

(項) 3. 林業費

(目) 2. 松くい虫防除費

(単位:千円)

事業名	松くい虫防除事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
23,164	20,359	8,594			11,765
(事業内容の説明)					
特別防除(空中散布)と伐倒駆除等を効果的に組み合わせることで実施することにより、松くい虫の被害から松林を守る。					
伯耆町松くい虫被害対策地区実施計画に定める地区保全松林付近の松林に対し、土地所有者又は管理者が行う薬剤の樹幹注入及び薬剤の地上散布経費を助成する。					
区分 (補助率)	事業量	事業費 千円	県 補助金 千円	町費 千円	内容
特別防除 (5/10～ 6.5/10)	286ha	9,000	4,800	4,200	ヘリコプターによる薬剤散布 (実施区域:丸山、岩立、添谷、父原、船越)
被害防止 (1/2)		439	219	220	特別防除実施に伴う被害防止対策 ・被害防除連絡協議会の開催 17千円 ・散布実施に伴う消耗品 40千円 ・養蜂移転補償 382千円
空中探査 (1/2)	34ha	800	400	400	緊急防除実施に伴い空中から探査を行い被害木を把握
緊急防除 (1/2)	50m3	1,550	775	775	ヘリコプターのガンノズルによる薬剤散布 (実施区域:父原、船越)
伐倒駆除 (1/2)	100m3	1,500	750	750	被害木を伐倒後、薬剤処理し駆除 (実施区域:溝口地区、日光地区)
特別伐倒 (1/2)	150m3	3,300	1,650	1,650	被害木を伐倒後、チップ状に破碎し駆除 (実施区域:丸山)
被害拡大防止 支援補助金		1,770	—	1,770	対象事業:樹幹注入・地上散布 対象地区:町内ゴルフ場
		2,000	—	2,000	対象事業:特別伐倒駆除・伐倒駆除・樹幹注入 対象地域:ロイヤルシティ大山リゾート地内
合計		20,359	8,594	11,765	

平成29年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 1. 教育総務費

(目) 2. 事務局費

(単位:千円)

事業名		コミュニティースクール推進事業			
前年度	本年度	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,544	1,348	312			1,036
(事業内容の説明)					
<p>コミュニティースクールは、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」を設け、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などに意見を述べたりすることを通じて、地域の意見を学校運営に反映させる仕組み。</p> <p>学校運営協議会は、学校運営の基本方針の修正・承認を行うほか、教育活動の評価などを行う。主に、学力や体力向上への取組、家庭との連携、教育活動への地域の物的・人的資源の活用などについて協議する。</p>					
【コミュニティースクール導入推進校】		(事業費)			
岸本中学校 : 平成28年4月～2年間		委員謝金・研修会講師謝礼		1,076千円	
二部小学校 : 平成28年4月～2年間		印刷製本費・事務費等		250千円	
		図書購入費・各種団体負担金		22千円	
		計		1,348千円	
【本町指定校】					
岸本小学校 : 平成26年4月1日再指定～3年間					
八郷小学校 : //					
溝口小学校 : 平成28年4月1日新規指定～3年間					
溝口中学校 : コミュニティースクール導入等促進事業(国1/3)					
【財源内訳】		コミュニティースクール導入等促進事業(国1/3)		312千円	

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 1. 社会教育総務費

(単位:千円)

事業名		学校支援地域本部事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
5,165	5,096	3,396			1,700
(事業内容の説明)					
<p>地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、子どもと向き合う時間の拡充を図る。</p> <p>各関係団体等で実行委員会・地域教育協議会を設置し、地域学校協働事業の企画実施、地域コーディネーター等の養成・活動等を行う。</p>					
(活動計画)		(主なボランティア活動)			
統括コーディネーターの設置(1人)		<学習支援型> 補習授業(伯耆未来塾)			
学校支援コーディネーターの設置(6人)		体験学習補助			
実行委員会(年4回)		本の読み聞かせ			
地域教育協議会(年1回)		戦争体験の講話 など			
事業成果報告会(年1回)		<環境整備型> ペンキ塗り			
定例会(毎月)		校庭・花壇の清掃・除草			
		子どもと一緒に掃除 など			
(支出内訳)					
報償費	4,761 千円	地域・学校支援コーディネーター活動謝金、実行委員会・地域教育協議会謝金等			
旅費	16 千円	研修会参加旅費			
需用費	166 千円	消耗品費			
役務費	153 千円	通知郵券料・ボランティア活動保険			
計	5,096 千円				
(財源内訳)					
学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金		3,396 千円(国1/3、県1/3)			

平成29年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	岸本公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
7,219	7,308			27	7,281
(事業内容の説明)					
町民の生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者まで住民が利用しやすい施設運営を図る。					
(支出内訳)					
	報酬(公民館運営審議委員)			64千円	
	賃金(臨時職員1名、管理代行員)			2,496千円	
	旅費(普通旅費)			11千円	
	需用費(消耗品費、光熱水費、燃料費、修繕料等)			2,367千円	
	役務費(通信運搬費等)			169千円	
	委託料(保守点検委託料、施設管理委託料等)			2,094千円	
	使用料及び賃借料(マット等使用料)			107千円	
	合計			7,308千円	
(財源内訳)					
	公民館使用料	20千円	雑収入(コピー料)	7千円	

事業名	岸本公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,064	1,092				1,092
(事業内容の説明)					
各種事業を開設し、子どもから大人までの学習の場を提供し、参加者の交流、親睦を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(松栄学級)					
高齢者を対象に、町外研修、講演会、実習等を開催し、生きがいと健康づくりを図る。(年間10回)					
	報償費(講師謝金等)			71千円	
	旅費			9千円	
	小計			80千円	①
2. 成人講座、男性講座					
成人を対象に、盆踊り講習会のほか各種講座を開催し、学習と交流を図る。(年間8回程度)					
	報償費(講師謝金)			32千円	
	旅費、需用費(消耗品費)			9千円	
	小計			41千円	②
3. 子ども体験活動					
小中学生を対象に、自然体験・郷土学習などとおして、子どもの豊かな心を育む。(年間6回程度)					
	報償費(講師謝金)			22千円	
	旅費、需用費(消耗品費)			8千円	
	小計			30千円	③
4. 家庭教育講演会					
保育所、小中学校、その他関係団体と連携し講演会を開催し、家庭での教育力の向上を図る。					
	報償費(講師謝金)			30千円	④
5. 町民運動会岸本地区大会					
岸本地区の町民総スポーツの中心的事業として、実行委員会方式で開催する。(10月1日予定)					
	負担金補助及び交付金(岸本地区運動会補助金)			647千円	⑤
6. 岸本公民館きないや祭(岸本地区文化祭)					
公民館内外の活動の成果を発表し、広く住民のふれあいと交流を図る。(11月18、19日予定)					
	報償費(参加賞)			79千円	
	需用費(消耗品費、賄材料費等)、役務費			85千円	
	委託料(パネル設置等委託料)、使用料及び賃借料			100千円	
	小計			264千円	⑥
	合計(①～⑥)			1,092千円	

平成29年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	二部公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,132	2,700			101	2,599
(事業内容の説明)					
過疎化、少子高齢化が進む中、生涯学習の拠点のみならず、地域の活性化センターの役割を果たすため、住民が気楽に利用できるよう円滑な施設管理運営を図る。					
(支出内訳)					
	報酬(公民館運営審議委員)			53千円	
	賃金(たたらまつり補助臨時賃金)			224千円	
	旅費			51千円	
	需用費(消耗品費、光熱水費、燃料費、施設修繕費等)			1,524千円	
	役務費(通信運搬費、火災保険料、手数料)			106千円	
	委託料(保守点検委託料、施設管理委託料)			314千円	
	使用料及び賃借料(土地借上料、マット等使用料等)			328千円	
	備品購入費(図書購入費)			100千円	
	合計			2,700千円	
(財源内訳)					
	公民館使用料			1千円	
	伯耆町豊かなふるさと創造基金繰入金(対象:図書購入費)			100千円	

事業名	二部公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
677	676				676
(事業内容の説明)					
地区の特色を活かしながら、多々楽学園、女性学級、たたらまつり(公民館まつり)等を実施し、生涯学習の推進を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(多々楽学園)					
二部地区内の高齢者を対象に、町内外研修、講演会等年間10回程度開催する。					
	報償費(講師謝金等)			51千円	
	旅費(町外研修職員旅費、講師派遣旅費)			7千円	
	小計			58千円	①
2. 女性学級					
町内に居住する女性を対象に、町内外研修、各種講習会、ものづくり教室など年間10回程度開催する。					
	報償費(講師謝金)			40千円	
	旅費(町外研修職員旅費)			9千円	
	需用費(消耗品費)			16千円	
	小計			65千円	②
3. 生涯学習講座					
夏休みのお楽しみ事業、各種団体等との交流会、各種体験教室等の事業を開催する。					
	報償費(講師等謝金)			47千円	
	需用費(消耗品費)			29千円	
	小計			76千円	③
4. たたらまつり(2月下旬開催予定)					
二部公民館を会場に作品展示、農産物販売などを開催。期日、内容等は実行委員会で決定					
	報償費(特別展講師謝金、出品者参加賞)			98千円	
	需要費(消耗品費、食糧費、印刷製本費)			89千円	
	役務費(クリーニング手数料)			10千円	
	使用料及び賃借料(リユース食器使用料)			16千円	
	小計			213千円	④
5. 町民運動会 二部地区大会					
地域住民の健康増進と親睦を深めることを目的に実行委員会方式で開催する。					
	負担金補助及び交付金(二部地区運動会補助金)			264千円	
	小計			264千円	⑤
	合計(①~⑤)			676千円	

平成29年度一般会計予算

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

提出課 教育委員会
(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	溝口公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,637	2,177			15	2,162
(事業内容の説明)					
町民の生涯学習の拠点施設として、子どもから高齢者まで住民が利用しやすい施設運営を図る。					
(支出内訳)					
	報酬(公民館運営審議会委員)			53千円	
	賃金(臨時職員1名)			1,672千円	
	旅費			20千円	
	需用費(消耗品費、食糧費、燃料費、修繕料)			184千円	
	役務費(手数料、火災保険料)			74千円	
	委託料(特殊建物定期調査委託料)			150千円	
	使用料及び賃			24千円	
	合計			2,177千円	
(財源内訳)					
	溝口公民館使用料	15千円			
事業名	溝口公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
750	835				835
(事業内容の説明)					
各種事業を開設し、子どもから大人までの学習の場を提供し、参加者の交流、親睦を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(貴寿美学園)					
高齢者を対象に、町外研修、講演会、実習等を開催し、生きがいと健康づくりを図る。(年間13回程度)					
	報償費(講師謝金等)			66千円	
	旅費			14千円	
	小計			80千円	①
2. 生涯学習支援講座					
(1) 成人講座(年7回程度)					
成人を対象に、学習機会を提供し、親睦と交流を図る。					
	報償費(講師謝金)			40千円	
	旅費(費用弁償)			6千円	
	需用費(消耗品費)			6千円	
	小計			52千円	②
(2) 子どもの体験活動の充実講座(年13回程度)					
小中学生を対象に、いろいろな体験活動・郷土学習などを通して、子どもの豊かな心を育む。					
	報償費(講師謝金)			61千円	
	賄材料費(調理実習の材料費)			15千円	
	需用費(消耗品費)			40千円	
	小計			116千円	③
(3) 未就学児保護者対象家庭教育支援講座(年3回程度)					
未就学児保護者に学習する機会を提供し、家庭の教育力向上を図る。					
	報償費(講師謝金)			30千円	
	需用費(消耗品費)			6千円	
	小計			36千円	④
3. 町民運動会溝口地区大会の開催。実施時期:10月中旬					
溝口地域の住民の健康維持と親睦を図るため、運動会を実施する。実行委員会方式で開催する。					
	負担金補助及び交付金(溝口地区運動会補助金)			365千円	
	小計			365千円	⑤
4. 公民館まつりの開催。実施時期:平成30年3月					
公民館内外の活動の成果を発表し広く住民のふれあいと交流を図る。					
	報償費(講師謝金等)			109千円	
	需用費(消耗品費、食糧費、賄材料費)			61千円	
	使用料及び賃借料(リユース食器、ガスボンベ使用料)			16千円	
	小計			186千円	⑥
	合計(①~⑥)			835千円	

平成29年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	日光公民館管理事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
2,478	3,957			101	3,856
(事業内容の説明)					
過疎化、少子高齢化が進む中で地域づくりと自己実現の生涯学習拠点施設の管理運営を行う。					
(支出内訳)	報酬(公民館運営審議会委員)			53千円	
	賃金(公民館祭補助臨時職員)			269千円	
	旅費			51千円	
	需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、施設修繕料等)			1,751千円	
	役務費(通信運搬費、火災保険料等)			308千円	
	委託料(施設清掃、施設保守委託料)			1,264千円	
	使用料及び賃借料(土地借りげ料等)			161千円	
	備品購入費(図書購入)			100千円	
	計			3,957千円	
(財源内訳)	伯耆町豊かなふるさと創造基金繰入金(対象:図書購入費)			100千円	
	公衆電話委託手数料			1千円	

事業名	日光公民館生涯学習事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
668	704				704
(事業内容の説明)					
地区の特色を活かしながら、高齢者教室(日光学園)、世代間ふれあいセミナー、ふるさと学級、ふるさとまつり(公民館まつり)、町民運動会日光地区大会、伯耆町駅伝等を実施し、生涯学習の推進を図る。					
(主な内容)					
1. 高齢者教室(日光学園)					
日光地区内の高齢者を対象に、町内外研修、講演会等年間10回程度開催する。					
	報償費(講師謝金等)			39千円	
	旅費(町外研修職員旅費)			7千円	
	需用費(消耗品費)			10千円	
	小計			56千円	①
2. 世代間ふれあいセミナー					
小学校と公民館が連携した体験交流事業、地域性を生かしながら、幅広い年代層での体験交流事業、地域の伝統を継承し事業を実施。					
	報償費(講師謝金)			65千円	
	需用費(消耗品費)			11千円	
	小計			76千円	②
3. ふるさと学級					
日光地区に伝わる、食、文化各行事を通じて、後世に伝えると共に地域の伝統文化を再発見する。					
	報償費(講師謝金)			40千円	
	旅費			5千円	
	需用費(消耗品費)			9千円	
	小計			54千円	③
4. ふるさとまつり					
公民館活動の成果発表の場、地域住民の出会い、ふれあい、ふるさと再発見を目的とした交流の場					
	報償費(講師謝金)			68千円	
	需用費(消耗品費、食糧費等)			76千円	
	リユース食器使用料			16千円	
	小計			160千円	④
5. 町民運動会日光地区大会					
町民の健康増進と親睦を深める大会。実行委員会を組織し住民参画により企画運営を図る。					
	日光地区運動会補助金			224千円	⑤
6. 伯耆町駅伝					
駅伝大会を開催し、健康づくりと親睦を深め、地域の活性化を目指す。					
	需用費(消耗品費、賄材料費等)			116千円	
	リユース食器使用料			18千円	
	小計			134千円	⑥
	合計(①～⑥)			704千円	

平成29年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 2. 公民館費

(単位:千円)

事業名	日光公民館改修事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
0	10,624		10,600		24
(事業内容の説明)					
旧日光小学校校舎1階のバリアフリー化等福祉的機能の増強を図り、日光公民館施設として利用できるよう改修を行う。					
(支出内訳)	設計監理委託料		1,404千円		
	工事請負費		9,220千円		
	計		10,624千円		
(主な改修内容)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎・体育館玄関へのスロープ設置 ・点字ブロックの設置 ・多目的トイレへの設置 ・トイレの洋式化 ・調理室の1階への移設 				
(財源内訳)	過疎対策事業債		10,600千円		

平成29年度一般会計予算

提出課 教育委員会

(款) 9. 教育費

(項) 4. 社会教育費

(目) 1. 社会教育総務費

(単位:千円)

事業名	人権教育・啓発推進協議会運営事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国・県支出金	起債	その他	一般財源
1,657	1,545	327			1,218

(事業内容の説明)

部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消と人権が尊重される住みよいまちづくりを目指して、住民、町内事業所をはじめ、保育所・学校関係者、行政職員等で構成する伯耆町人権教育・啓発推進協議会が人権教育・啓発事業を実施しており、その運営を支援するもの。

(伯耆町人権教育・啓発推進協議会の主な事業)

① 明るいまちづくり懇談会

集落単位で対話をしたり研修会に参加して見識を深めることによって、住民が身近な人権尊重や差別の根絶について能動的に気づき、考え、行動するきっかけとするため、各集落での懇談会と広域的なセミナーを開催する。

② 人権・同和問題実践研究交流会の開催

人権・同和問題の早期解決と人権尊重の意識の高まりを目指して、町民や町内で働く者が学習と実践の意欲を高めるために実施する。

実施時期:平成29年12月

規模:200人程度

内容:人権啓発標語優秀作の表彰・人権作文の朗読(中学生)

・実践報告等の発表(成人)・講演など(詳細は、実行委員会で協議・運営する。)

③ 啓発物品の作成、会報の発行及び配布

・人権啓発標語カレンダー(年1回)

・人権だより(年1回)

④ 県内外で行われる研修会への参加を助成。

第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会、部落解放第49回全国高校生集会、部落解放研究第51回全国集会、第42回部落解放・人権西日本夏期講座など

⑤ 人権啓発標語の募集と活用

小中学生から成人までを対象に人権啓発標語を募集し、優秀作品を人権・同和問題実践研究交流会で表彰するとともに、人権啓発標語カレンダーに掲載して啓発に活用する。

(事業費)

項目	予算額	備考
報 償 費	402千円	明るいまちづくり懇談会推進者・講演会講師謝金ほか
賞 賜 費	87千円	懇談会進出者参加記念品
旅 費	464千円	県外等研修旅費
需 用 費	374千円	人権啓発標語カレンダー・人権だより作成・研修会資料代ほか
委 託 料	128千円	実践研究交流会音響操作・手話通訳
負担金補助及び交付金	90千円	県人権教育推進協議会費・県研究集会負担金
合計	1,545千円	

(財源内訳) 県人権啓発地方委託事業委託金 327千円(10割)

(対象:人権・同和問題実践研究交流会の講師謝金、音響操作・手話通訳委託料)